

新型コロナウイルス感染症対策におけるみやま市支援策

(がんばりグッチョ・全力応援事業・第2弾)



① 地域交通事業者継続支援事業 … 企画振興課

<概要>

コロナ禍における原油価格高騰の影響を大きく受けている、市内に本社もしくは営業所のあるタクシー事業者、貸切バス事業者、運転代行事業者に対し、支援金を支給する。

<支援金の詳細内容>

事業者につき一律20万円+車両1台につき5万円の合計額(上限100万円)

※タクシー事業者：5社、貸切バス事業者：2社、運転代行事業者：4社

<予算額合計>

530万円

② 市内中小企業者支援（融資制度利用者支援） … 商工観光課

<概要>

新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰の影響を受け、資金繰りが厳しい市内中小企業者に対し、本市の中小企業融資資金の活用を促し、コロナ禍における事業継続を下支えする。

<対象事業者>

6ヵ月以上市内に営業所（事業所）があり、市内に居住している中小企業者

<支援内容>

- 令和4年度の利子相当額を市が全額助成

中小企業者の資金繰り支援として、現在行っている保証料の全額補給（上限30万円）に加え、令和4年度分の利子相当額を市が全額助成する（約156事業所）。

<予算額>

750万円

③ 農業経営継続支援（収入保険加入促進事業） … 農林水産課

<概要>

農業者が、新型コロナウイルス感染症の影響や自然災害などによる農業収入の減少に備えるため、農業経営収入保険加入に要する経費について、保険料の半額を助成する。

<補助対象者>

【個人】市内に住所を有し、令和5年1月に保険期間が開始する収入保険へ加入又は継続申請をした農業者（青色申告者のみ）

【法人】本店又は主たる事務所が市内にあり、令和4年10月から令和5年3月までの期間で収入保険へ加入又は継続申請予定の法人

<補助率等>

保険料の1/2を補助（対象者見込：法人3社、個人111名）

<予算額>

800万円

④ 学校給食・食材高騰助成事業 … 学校教育課

<概要>

ウクライナ情勢や円安の進行等によって学校給食の食材価格は高騰している。小・中学校の給食材料費などの高騰により、食材の質の低下や保護者の給食費の負担増にならないように、価格上昇分を市が助成する。

<補助額>

- ・小学校 120円/月（価格高騰分）×11月×1,853人≒245万円
- ・中学校 150円/月（価格高騰分）×11月×951人≒157万円

※なお保護者負担軽減については、令和4年度当初予算にて、1人あたり上限1,000円/月の補助を行うこととしている。

<予算額合計>

402万円

⑤ 家庭学習環境整備事業 … 学校教育課

<概要>

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、複数の学校において学級閉鎖となり、長期間登校ができない状況が発生している。児童生徒に、1人1台整備したタブレット等を自宅で活用し、学習の保障ができるよう、タブレットの充電機器を整備する。

<整備内容>

- ・タブレット充電機器（各校2クラス相当分を整備）

小学校 70台/校×10校=700台

中学校 70台/校×4校=280台

<予算額合計>

249万円

⑥ 小中学生・みやまワクワク体験学習事業 … 学校教育課

<概要>

新型コロナの影響が長期化するなか、感染症対策のため集団学習や社会体験学習などの活動制限を受けている児童・生徒に、みやま市の自然環境、観光資源、各種施設などを訪れ、体験することで、地元を知り、郷土への愛着を育成する。

<体験学習の例>

みかん狩り、セロリ・ナス施設の見学、線香花火づくり、オルレ体験、ルフラン見学、市内にあるスケートボードやボルダリングなどの日帰り体験学習など。
※各学校の判断により実施。

<予算額合計>

452万円

⑦ 自宅療養者等応援事業 … 健康づくり課

<概要>

新型コロナウイルス感染症により、自宅療養をされている方の不安を少しでも軽減し、安心して療養に専念していただくため、支援物資を自宅へ届ける。

<対象者>

保健所からの指示により、自宅で療養されている新型コロナ陽性となった市内居住者で、周囲からの支援等が困難なことにより、食料品等の支援を希望する方。

<支援の内容>

食料品等の必要な物資（5,000円分）を自宅へ届ける。

<予算額合計>

371万円

支援物資 360件分を追加（当初予算では100件を予算化）

配送業務委託等の事務費

⑧ 保育施設等感染対策支援事業 … 子ども子育て課

<概要>

市内の放課後児童クラブや保育所等において、感染症対策として必要となる衛生用品や備品購入等に対し助成する。

<対象施設及び助成内訳>

- ・放課後児童クラブ9カ所、つどいの広場1カ所、ファミリー・サポートセンター1カ所、病児病後児保育施設1カ所

30万円×12カ所＝360万円（国1/3、県1/3補助）

- ・保育所 11 カ所、認定こども園 3 カ所、事業所内保育所 1 カ所
50 万円（定員 60 人以上）×9 カ所＝450 万円（国 1/2 補助）
40 万円（定員 20～59 人）×6 カ所＝240 万円（国 1/2 補助）
※なお認定こども園（幼稚園型）は、県より直接補助予定。

<予算額合計>

1, 050万円

財源内訳 地方創生臨時交付金 465 万円、その他国県補助金 585 万円

⑨ その他各種支援・整備事業など

① サイクルツーリズム推進事業（商工観光課）… 150 万円

自転車を活用した観光振興である「サイクルツーリズム」を推進するため、観光協会の自転車購入費用を助成する。自転車 16 台（電動自転車含む）、JR 瀬高駅及び道の駅みやまへ設置予定。

② コロナ禍に対応したイベント実施事業（社会教育課）… 450 万円

コロナ禍でも実施可能なイベントを検討し、市民が安心して楽しめるイベントを行う。令和 4 年 10 月初旬にみやま市総合市民センターのオープニングイベントを開催予定。

③ 乗用草刈機購入事業（教育総務課）… 128 万円

コロナ禍で、少人数で効率よく除草作業を行い、児童生徒の安全な学習環境を整備するため、老朽化した乗用草刈機を更新する（1 台）。

<予算額>

728万円

みやま市支援策（第2弾）合計：5, 332万円

【財源内訳】

国県補助金	585万円
地方創生臨時交付金	4, 747万円
市一般財源	0万円